

畜産茨城

第499号

令和4年11月30日



目次

第12回全国和牛能力共進会 ～和牛フェスinかごしま2022～ … 1	畜産映像情報 がんばる！畜産！6… 7
茨城県畜産センターの情報発信について … 2	令和4年9月市況 …………… 8
第46回茨城県畜産常陸牛枝肉共励会 … 3	肉用子牛生産者補給金発動状況 …………… 8
ちくさんフードコレクション 2022inいばらき …… 5	令和4年10月市況 …………… 9
	牛マルキン発動状況 …………… 9
	今シーズンの高病原性鳥インフルエンザ、 異例のペースで発生 …………… 10

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人 茨城県畜産協会
電話 029(231)7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／八木岡 努

第12回全国和牛能力共進会 ～和牛フェスinかごしま2022～



令和4年10月6日～10日の5日間に渡り、種牛の部が鹿児島県霧島市、肉牛の部が鹿児島県南九州市において、第12回全国和牛能力共進会の最終比較審査が行われました。5年に1度の「和牛のオリンピック」とも称されるこの大会、今回は「和牛新時代 地域かがやく和牛力」をテーマに開催されました。来場者数は30万8千人と発表されています。

全国41道府県から438頭が出品され熱戦が繰り広げられましたが、本県からは種牛の部第1区、第2区及び第3区に各1頭、肉牛の部第7区に1群3頭、第8区1頭の計7頭を、県代表として出品しました。出品者や成績等については表のとおりです。

肉牛の部では、前回の宮城大会に引き続き優等賞入賞という成績でしたが、種牛の部に関しては、第1区で本県から初出品ということで注目を集めたものの、九州勢等大産地の壁は厚く、なかなか上位入賞は難しいというのが実情です。5年後に北海道において開催される第13回大会に向け、全出品区での優等賞入賞を目標に準備を進めてまいります。

なお、付帯行事として開催された和牛審査競技会高校生の部において、県立水戸農業高校3年の矢ノ倉廉君が、優秀賞1席入賞というすばらしい成績を収めてくれました。

全国和牛登録協会茨城県支部

区 分	名 号	生年月日	出品者	成 績
種牛の部				
第1区(若雄)	夢美関	R 3. 4. 18	肉用牛研究所	1等賞4席
第2区(若雌の1)	はつみ401	R 3. 5. 18	菊池 淳一	2等賞
第3区(若雌の2)	きたてる2	R 3. 3. 24	駒木根 忠	1等賞8席
肉牛の部				
第7区(脂肪の質評価群)	小春	R 2. 10. 27	茨畜連P F	優等賞10席
	耕茂	R 2. 10. 27	茨畜連P F	
	歩茶丸3	R 2. 10. 10	佐藤 宏弥	
第8区(去勢肥育牛)	絵美179	R 2. 10. 24	佐藤 宏弥	優等賞26席

※第7区は群出品のため、3頭1群での入賞

茨城県畜産センターの情報発信について

茨城県畜産センター企画情報室

茨城県畜産センターは明治35年に茨城県種畜場として東茨城郡緑岡村見川（現在の水戸市丹下）に設立されました。以来改組を重ね、平成12年に本所を現在の石岡市に移転し、肉用牛研究所（常陸大宮市）、養豚研究所（稲敷市）の3所で茨城県の畜産の研究を行う機関として数々の試験研究を実施しております。

畜産センターでは、試験研究のほか受精卵の販売（本所）、精液の販売（肉用牛研究所・養豚研究所）、種豚の払下げ（養豚研究所）や家畜人工授精師講習会、畜産物加工体験など畜産農家の方々や一般の方々に直接関わる業務も行っており、皆さまのお役に立てるよう日々精進をしております。

その中で、企画情報室では、国の研究機関等、外部との試験研究に関する調整や研究成果などの広報業務を担当しています。

畜産センターの試験研究は、独自で実施しているもののほか、国や他県の機関と協力し、共同研究として実施しているものがあります。その際には、試験内容の分担や得た情報の取り扱い、知的財産等について契約書を取り交わす必要があり、契約内容の確認・精査、契約締結の手続きなどを当室が行っております。また、視察や問い合わせの窓口にもなっており、内容に応じて担当の所・室へ連絡を繋ぐ役割を担っています。

畜産センターでは毎年10月に公開デーを実施し、施設や試験研究成果などを広く県民に広報してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症等の影響により、一昨年、昨年に引き続き、今年も中止とさせていただきます。一方で、新型コロナウイルス感染症の動向をみながらにはなりますが、出前講座は引き続き開催し、これらの機会をとおして情報発信を行っております。

今年度の出前講座は、保育園、小学校などの学校行事を対象にバター作りやアイスクリーム

作りを実際に体験しながら、食育に関するお話、畜産センターの研究紹介など、楽しく、畜産を学べるメニューを準備しています。11月から募集を開始しますので、ぜひお申込みください。（詳細についてはHPでご案内しておりますので、ご確認のうえお電話ください。）



ホームページやFacebookではこれまでご案内してきた畜産センター、肉用牛研究所、養豚研究所で研究している研究内容の詳細や、各種お知らせ、センターの日々の出来事・様子などを配信しています。こうした取り組みを通し、多くの県民の皆様へ、本県の畜産の現状や魅力をお伝えできるよう、これからも情報発信を行っていきます。

茨城県畜産センター HP

<https://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/chikuse/index.html>



茨城県畜産センター Facebook

<https://www.facebook.com/ibarakichikuse/>



第46回茨城県畜連常陸牛枝肉共励会

茨城県畜産農業協同組合連合会

令和4年9月26日（月）～28日（水）、東京都中央卸売市場食肉市場において「第46回茨城県畜連常陸牛枝肉共励会」を開催しました。本共励会は本会が主催し、茨城県・全国畜産農業協同組合連合会・東京食肉市場株式会社の後援を受け、常陸牛のブランド化及び生産農家の肥育技術向上等を目的として、昭和52年から毎年継続し開催しております。今回は、本会傘下の常陸牛指定生産者が丹精込めて飼育した黒毛和種の中から50頭を厳選して開催しました。また、今回も新型コロナの感染拡大防止の観点から食肉市場への参加自粛をお願いせざるを得ない状況で、褒賞式も中止することとなり枝肉審査とセリ販売のみの開催となりました。

出品牛の内訳は去勢47頭・雌3頭、平均出荷月齢は30.7ヶ月齢でした。出品牛のうち49頭が常陸牛に格付けされ、上物率98%（前回

96%）、うち5等級率90%（前回80%）は過去最高の成績となりました。極上・特撰クラスといわれるBMS No.10以上も26頭あり肉質最高位のBMS No.12も10頭と、まさに最高の霜降り牛肉が勢揃いし多くの注目を集めました。良質で甲乙つけがたい枝肉が多く審査も難航しましたが、名誉賞には高萩市の(株)茨畜連パイロットファーム米平牧場、最優秀賞には土浦市の櫻井貴博氏の出品牛が選抜されました。特に名誉賞牛については、肉質はもちろんのこと体型の良さと肉量に富んだボリュームある力強い枝肉として満場一致での選出となりました。新たな視点・今後の方向性を重視した本会独自の褒賞である「推奨牛」においても、購買者ニーズとして体型・脂質・キメ等を重視して良質牛選定が行われました。入賞牛の成績については、次のとおりです。

【入賞者名と成績】

褒賞	市町村名	出品者	性別	父	2代祖	3代祖	枝肉重量	BMS No.	ロース芯	バラ厚	単価	売上金額
名誉賞	高萩市	(株)茨畜連PF 米平牧場	去勢	福之姫	安福久	安茂勝	662	12	97	10.4	3,372	2,232,264
最優秀賞	土浦市	櫻井 貴博	去勢	福之姫	北国関7	安福久	555	12	76	9.2	3,056	1,696,080
優秀賞1席	八千代町	古沢畜産	去勢	夏百合	美国桜	百合茂	551	12	108	8.2	2,930	1,614,430
優秀賞2席	鉾田市	(株)茨畜連PF 鉾田牧場	去勢	礼美茂	百合茂	安福久	565	12	106	10.0	3,038	1,716,470
優秀賞	常総市	大場 和也	雌	福之姫	安福久	安茂勝	432	11	76	8.1	2,755	1,190,160
〃	古河市	宇都木孝浩	去勢	福之姫	安茂勝	安福165 の9	519	11	70	8.3	2,703	1,402,857
〃	筑西市	(株)澁澤畜産	去勢	幸紀雄	安福久	金幸	595	12	106	10.3	2,676	1,592,220
〃	筑西市	(株)澁澤畜産	去勢	百合白清2	秋忠平	安福久	618	12	121	9.8	2,810	1,736,580
〃	鉾田市	(株)茨畜連PF 鉾田牧場	去勢	秋忠平	美国桜	勝忠平	572	12	93	9.1	2,854	1,632,488
〃	鉾田市	(株)茨畜連PF 鉾田牧場	去勢	若百合	美国桜	勝忠平	613	11	96	9.8	2,735	1,676,555
推奨牛 (キメ細かさ)	古河市	長島 勝男	去勢	福之姫	安茂勝	第1花国	549	8	53	8.7	2,454	1,347,246
〃 (脂質・体型)	鉾田市	(株)茨畜連PF 鉾田牧場	去勢	梅栄福	勝早桜5	安福久	580	6	57	8.8	2,201	1,276,580

出品50頭の全体成績においては、平均枝肉重量が556kg（去勢563kg・雌438kg）と大型化しているだけでなく、平均BMS 9.1、ロース芯78.3cm等と肉質良好な枝肉が揃った点も評価され平均販売金額も137万円と高値の取引に

つながりました。

現在の肉牛を取り巻く環境は、過去最高値となる配合飼料価格等のコスト上昇や、諸物価高の影響による牛肉消費の低迷等と不安材料が多く、各生産者の経営に対する苦労は計り知れな



畜連名誉賞 断面

いものがあります。経営の安定には個人の努力だけでは厳しいものがあり、国や県等におかれましても肉用牛の厳しい現状を深くご理解いただき更なる支援も切に願っております。

本県銘柄牛「常陸牛」は、出荷頭数が2年連続で1万頭の大台を超えるとともに、今年10月に開催された「東京食肉市場まつり2022」でも「推奨銘柄牛」として多くの注目を集めました。また、県知事がカナダで常陸牛販路拡大に向けたトップセールスを行う等、海外輸出の動きも活発化してきております。今後も更に県・関係団体・指定生産者・販売店が一体となって、消費者に喜ばれる「常陸牛」ブランドを築いてい

けるよう努力してまいります。

また、和牛の脂はオリーブオイル同様にコレステロール減少・病気や老化の原因となる酸化の抑制・血圧降下等の効果が確認されており、体に良いとされる一価不飽和脂肪酸を効率的に摂取できる「機能性食品」でもあります。消費者の皆様にも、安心・安全・美味しく・健康にも良い「常陸牛」をたくさん食べていただきたいと願っております。

最後になりましたが、本共励会を開催するにあたり、ご協力いただいた関係機関の皆様、審査をしていただいた諸先生方、出品された生産者の皆様に、心よりお礼を申し上げます。



畜連受賞者 左から、中川常務、米平職員(3名)、斉藤会長

ちくさんフードコレクション2022inいばらき

－来て・見て・知って・食べて・感じて－

茨城県酪農業協同組合連合会 茨城県牛乳普及協会

令和4年9月23日（金・祝）、9月24日（土）の2日間にわたり、茨城県三の丸庁舎（旧茨城県庁）特設会場において、畜産・酪農関係団体主催による「ちくさんフードコレクション2022in いばらき」を開催いたしました。

近年の酪農業界を取り巻く状況は大変厳しくなっており、畜産・酪農業界が一体となって窮状を訴えることも含め、茨城県産の畜産物から作られた畜産フードを「来て、見て、食べて、知って、感じて」もらうことを目的としたイベントを開催しております。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い3年振りの開催となりましたが、久々の開催にも関わらず多くの方にご来場頂きました。今回で第7回目のちくさんフードコレクションですが、1日目は天候にも恵まれ、多くのブースで行列ができる等、大盛況となりました。2日目については、台風15号の接近が心配されておりましたが、無事開催することができました。時折雨に見舞われましたが、両日の来場者数4,000人と大勢の方に参加していただき、大変な賑わいを見せました。



ロールボール落書きコーナー

ロールボール落書きコーナーやこどもコーナー、模擬牛を使用した乳しぼり体験コーナーなど大いに盛り上がりを見せました。特に、模擬

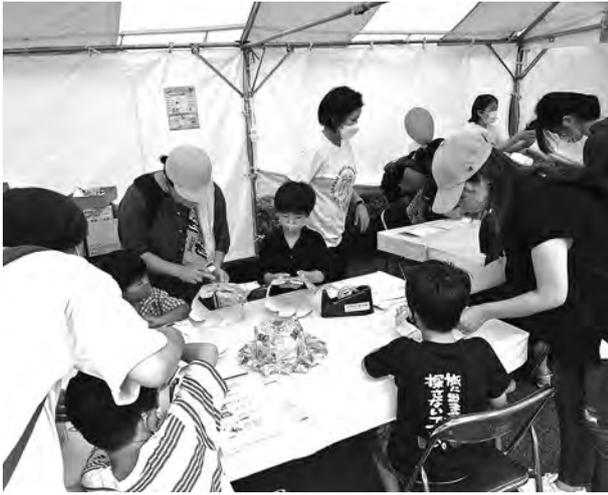
牛搾乳体験コーナーでは、700人以上のお子さんが乳しぼりを体験し、実際に触れることで酪農を身近に感じる事ができたのではないのでしょうか。



模擬牛を使用した乳しぼり体験

また、麦茶ミルクの無料試飲コーナーでは、麦茶と牛乳といった普段あまりない組み合わせですが、その意外性に多くの方が興味を持ち、長蛇の列ができておりました。茨城の牛乳・乳製品の美味しさを味わっていただくいい機会になったと思います。

牛乳パック工作教室では、牛乳パックで野球帽と麦わら帽子を作りました。参加者はパックの柄を生かした帽子を親子で協力しながら作成し、会場内では完成した帽子を被ったこども達



牛乳パック工作教室



が多く見られました。

他にも、ステージ上では、モーレッツいばらきクイズ等が行われ、子供から大人まで楽しんでいただけたことと思います。

また、酪農・畜産に関するパネルを展示するちくさんを知ろうコーナーなど、様々な方向から酪農・畜産を知ることができる展示もあり、多くの来場者に興味を持っていただけたのではないのでしょうか。

コロナ禍のイベント開催となり、来場者数等心配もありましたが、多くの方にご来場頂き、様々な体験を通じて酪農と畜産を見て、知って、感じてもらえるようなイベントになったと思

ます。

最後に、このイベントは、牛乳・乳製品の消費拡大をPRするために平成5年より「ミルクメッセ」として水戸市で開催、平成8年からは国営ひたち海浜公園、平成13年から畜産センター、また、平成18年には国営ひたち海浜公園と場所を変えつつ、平成26年から現在の三の丸庁舎で「ちくさんフードコレクション」として開催して参りました。今回も多くの畜産関係者の協力を得て開催することができました。酪農・畜産業界は厳しい状況を迎えておりますが、今後も、消費拡大・理解醸成活動等尽力して参りたいと思います。



イベントステージ



イベント会場入口

がんばる! 畜産! 6

今、畜産業は担い手不足や国際化の進展など、大きな変化の局面にあります。そんな中、飼料を自ら生産したり、省力化を図ったりと、さまざまな工夫で素晴らしい経営を行っている生産者がたくさんいます。

このサイトでは、そうした各地の優れた畜産経営や、後継者の活躍、おいしくて安全な畜産物を消費者の方々に届けるまでを映像で紹介します。

この映像情報を生産者の方はもとより消費者の方々と共有することで、元気で健全な畜産の発展につなげることを目指しています。



畜産トレンド発見!

このコンテンツでは、生産現場での省力化技術や、飼料用米やエコフィードなどの活用による飼料コスト削減など、「技術」に着目して各地の事例を紹介します。

●配信中の内容●

総集編②全国和牛能力共進会に向けて取り組む高校生たち／都市の中での乳肉複合による多角経営／総集編①自給飼料生産に取り組む生産者たち ほか

ドキュメント! 畜産の新主役たち

このコンテンツでは、畜産物の安全性確保や6次産業化の取り組み、女性、障がい者など多様な担い手の活躍を「人」に着目して紹介します。

●配信中の内容●

安全で美味しい畜産物を消費者に届けるための認証制度 農場HACCP／畜産業界で活躍する女性たち(総集編)／災害に負けなかったミルク ほか

なるほど! 畜産現場

このコンテンツでは、畜産物ができるまでや、現場を支える職人たち、馬事文化などあまり知られていない様々な畜産現場を紹介します。

●配信中の内容●

乳製品が搾乳現場から消費者に届くまでに密着!(総集編)／乳製品ができるまで／災害に立ち向かった畜産業界(総集編)

ほか

グリーンチャンネル
でも放送中

--- 放送日 ---
毎週月～金曜日
朝7時～

「がんばる! 畜産! 6」

URL : <https://jlia.lin.gr.jp/ganbaruchikusan/>

(お問合せ先)

公益社団法人中央畜産会 経営支援部 (情報)

TEL : 03-6206-0846 FAX : 03-5289-0890



令和4年9月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
7	一般子豚	0				
	ベビー豚	149	16,170	5,720	11,574	35
21	一般子豚	0				
	ベビー豚	147	22,880	15,730	19,379	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	78	627,000	297,000	476,244	295	1,615
		♂	1	375,100	375,100	375,100	236	1,589
		去計	71	805,200	346,500	594,914	316	1,885
		計	150	805,200	297,000	531,740	304	1,747
	F1	経産	6	764,500	169,400	340,450	-	-
		♀	0					
		♂	0					
		去計	0					

食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉；日曜、祭日を除く毎日										牛枝肉；毎週月曜日、木曜日			
	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)								屠畜頭数			
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛				
豚	13,243.5	70.2	663	644	617	572	407	594	24,810	740.0				
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)						
和牛	A	195	2,504	2,265	1,521	1,175	-	2,331						
	B	22	222	477.0	-	2,090	1,598		1,060	862				
	C	5		-	-	-	1,067		741					
乳牛	A	-	-	-	-	-	-	597						
	B	14	221	305.6	-	-	650		651	703				
	C	207		-	-	622	689		536					
交雑牛	A	4	38	463.3	-	1,680	1,498	-	-	1,451				
	B	30		-	1,630	1,500	1,168	-						
	C	4		-	1,542	1,362	1,080	-						

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	30	669,900	291,500	448,727	263	1,706
		♂	0					
		去計	29	785,400	412,500	557,700	292	1,908
		計	59	785,400	291,500	502,290	277	1,810

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	5、9、15、19、25、29						
	畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀		2	7,700	1,100	4,400
		♂		77	57,200	1,100	28,657
		去計		0			
			計	79	57,200	1,100	28,043
	2歳	♀		3	254,100	221,100	236,500
	♂		0				
	去計		3	254,100	221,100	236,500	
F1	スモール	♀		72	103,400	6,600	60,638
		♂		78	225,500	5,500	99,423
		去計		0			
			計	150	225,500	5,500	80,806
	子牛	♀		1	165,000	165,000	165,000
	♂		0				
	去計		1	165,000	165,000	165,000	
黒毛和種	スモール	♀		6	440,000	368,500	407,000
		♂		1	449,900	449,900	449,900
		去計		0			
			計	7	449,900	368,500	413,129
	子牛	♀		2	442,200	413,600	427,900
		♂		5	475,200	322,300	398,420
		去計		0			
			計	7	475,200	322,300	406,843
	1歳	♀		1	110,000	110,000	110,000
♂			0				
去計			1	110,000	110,000	110,000	

肉用子牛生産者補給金発動状況

令和4年度第2四半期(2022年7～9月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円/頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平均売買価格	605,400	536,800	-	149,500	275,400
補給金単価	-	-	-	14,500	-

※「その他の肉専用種」については、令和2年度から算定期間を1年(4月～3月)としている。

令和4年10月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
5	一般子豚	0				
	ベビー豚	110	21,670	17,050	18,250	35
19	一般子豚	0				
	ベビー豚	118	20,460	16,500	17,926	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	79	929,500	60,500	523,934	291	1,799
		♂	0					
		去計	99	856,900	316,800	653,667	318	2,056
	経産	178	929,500	60,500	596,089	306	1,947	
	F1	♀	8	717,200	122,100	414,700	-	-
		♂	0					
		去計	0					

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀						
		♂						
		去計						

開催なし

食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日										牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)								屠畜頭数									
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛										
豚	12,761.0	72.2	673	634	603	563	449	587	24,607	828.0										
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)												
和牛	A	193	216	488.6	2,521	2,270	1,906	1,387	-	2,350										
	B	17			2,208	2,053	1,270	947	1,048											
	C	6			-	-	-	977	846											
乳牛	A	-	273	303.6	-	-	-	-	-	531										
	B	14			-	-	770	675	586											
	C	259			-	-	486	609	480											
交雑牛	A	4	43	445.4	-	1,576	1,491	-	-	1,445										
	B	27			1,782	1,658	1,604	1,010	-											
	C	12			-	-	-	1,073	630											

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	頭数	5、9、15、19、25、29		
					最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	去計	3	38,500	1,100	15,033
				79	48,400	1,100	28,530
				0			
	子牛	♀	去計	82	48,400	1,100	28,037
				0			
				0			
F1	スモール	♀	去計	5	57,200	47,300	51,920
				5	57,200	47,300	51,920
				3	260,700	253,000	257,033
	子牛	♀	去計	0			
				0			
				3	260,700	253,000	257,033
黒毛和種	スモール	♀	去計	62	137,500	11,000	68,892
				80	220,000	5,500	100,678
				0			
	子牛	♀	去計	142	220,000	5,500	86,799
				1	236,500	236,500	236,500
				1	220,000	220,000	220,000
乳牛	スモール	♀	去計	2	236,500	220,000	228,250
				7	425,700	342,100	385,000
				10	495,000	407,000	462,000
	子牛	♀	去計	17	495,000	342,100	430,294
				4	388,300	299,200	345,675
				5	482,900	374,000	423,940
3歳以上	♀	去計	1	330,000	330,000	330,000	
			10	482,900	299,200	383,240	
			6	357,500	280,500	331,833	
				0			
				6	357,500	280,500	331,833

牛マルキン発動状況

販売月	支払区分	肉専用種(茨城県)	交雑種	乳用種
令和4年9月	確定単価	50,625.9円	21,557.7円	40,458.6円
令和4年8月	確定単価	84,560.4円	43,261.2円	44,452.8円
	概算払単価	82,806.5円	41,755.7円	43,320.8円
令和4年7月	確定単価	-	34,163.1円	38,371.5円
	概算払単価	-	29,910.8円	34,380.2円

- ◆四半期の最終月以外については、交付金を概算払し、各四半期の最終月に確定単価で精算払をしています。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)また、消費税抜きで算定されています。
- ◆令和2年4月末日から令和3年5月末日までに負担金の納付期限を迎える登録肉用牛のうち、負担金の納付期限を猶予した登録肉用牛について、交付金の交付がある場合は、国費分のみ(4分の3相当額)の支払いとなります。(3品種とも)

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)畜産産業振興機構HP (<https://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

今シーズンの高病原性鳥インフルエンザ、 異例のペースで発生

高病原性鳥インフルエンザは、10月28日に今シーズン初めて岡山県倉敷市の採卵鶏農場で発生し、11月22日までに14例（1道9県）と異例のペースで確認されています。

野鳥では、9月25日に神奈川県伊勢原市でハヤブサが感染し、11月21日現在、37例（1道10県）が確認されています。昨シーズン（令和3年秋から令和4年春）は、1例目が11月8日に確認されていたので、今シーズンは1か月以上も早い確認です。

環境省は、毎シーズン全国52カ所の地点で渡り鳥の飛来状況調査を行っています。（詳しくは、環境省のホームページをご覧ください。）茨城県では千波湖で調査が行われ、今年は、水鳥の飛来が遅れていたが、10月19日には飛来状況が回復し、11月1日はヒドリガモ、オナガガモ、カンムリカイツブリ、オオバンなどの飛来数が増加しているとのことです。本県で野鳥での感染は11月22日現在、確認されていません。

今シーズンは、欧州や北米大陸で、これまでと異なり夏季になっても飼養家きんの発生が継続し、また、野鳥も世界規模で感染が確認され、感染した渡り鳥が我が国へ飛来するリスクは高いと考えられていました。家きん飼養者の皆様は、流行期に備え飼養衛生管理基準の点検を行っていたにもかかわらず、異例のペースでの発生で、「これ以上何をすればよいのか。」という心境と察します。

11月4日に第80回家きん疾病小委員会が開催され対策が示されたのでご確認ください。

- ・ ウイルスの人・車両又は野鳥等を含む野生動物を介した農場内及び家きん舎内への侵入防止対策の徹底
- ・ 農場周辺の消石灰散布などの消毒の徹底
- ・ 農場周辺にため池等の水場がある場合は、防鳥ネット、家きん舎の穴等の再点検
- ・ 農場内における手指や長靴の消毒
- ・ 適切に消毒効果を得られるよう毎日あるいは汚れた都度消毒薬を交換、消毒前の長靴の洗浄等を実施

そして、農場の飼養衛生管理者の方は、家畜保健衛生所から提供される情報を必ず確認し、飼養衛生管理に携わる全ての方と情報を共有しましょう。衛生意識レベルの向上につながります。

次に、効果を意識して対策していますか。例えば、鶏舎内にウイルスを持ち込まないために長靴を履き替えますが、履き替える場所で履いてきた長靴と接触していませんか。接触していれば、ただ長靴を履き替えているだけになります。スノコ等を置いて区分することで初めて対策が講じられたこととなります。

また、渡り鳥が飛来している湖沼や池付近が通勤道路になっている場合は、遠回りになっても経路を変更する。本県で野鳥での大量発生があった平成28年シーズン、実際に農場の方が実行されていた対策です。

今できる小さな対策を積み重ね、感染リスクを減らしていくことが重要です。

衛生課（獣医師：前田）

わたしたちは人と動物の「これから」を真剣に考えています



森久保薬品株式会社 茨城事業部
下妻市亀崎4011-1 TEL/0296-43-1661
FAX/0296-43-6509 フリーアクセスFAX/0120-436-509
<http://www.morikubo.co.jp> <http://www.haccp.jp>



茨城県銘柄鶏
奥久慈 しゃも
奥久慈しゃも生産組合
〒319-3523 茨城県久慈郡大子町袋田3723
TEL / 0295-72-4250
FAX / 0295-72-2944

県内唯一の食肉地方卸売市場
株式会社 **茨城県中央食肉公社**
代表取締役社長 小野 寺 俊
〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975
TEL / 029 (292) 6811 (代)
FAX / 029 (292) 6895
HP / <http://ibaraki-kousha.co.jp/>
市場開催日 { 豚枝肉 (日曜・祭日等を除く毎日)
牛枝肉 (毎週月・木曜日)

公益社団法人 茨城県畜産協会
TEL / 029 (231) 7501 FAX / 029 (222) 2032
○当協会に対する意見・要望
Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp
○本紙への掲載「催事・各種情報」
Eメール kobayashi-kenichi@ibaraki-lia.or.jp
○ホームページ
<http://ibaraki.lin.gr.jp>